

## カーボンニュートラルセミナー

北海道大学における  
サステナビリティ推進の取組み

—国内初 国際枠組に準じた方法論による包括的なGHG排出量の算定—

開催日時

2026. 3月4日 水

15時～17時30分 (14:30開場)

会場

六甲台第2キャンパス

バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション  
拠点棟 1F **ダイセルO1ホール**

参加費

無料

対象

神戸大学教職員・学生

## Lecture 1

北海道大学におけるサステナビリティ推進のあゆみ



山内 太郎 氏

北海道大学 総長補佐  
環境健康科学研究教育センター  
センター長  
保健科学研究院 教授

## Lecture 2

北海道大学GHGインベントリの紹介



平 裕 氏

北海道大学 サステナビリティ  
推進機構  
キャンパスマネジメント部門  
特任助教

北海道大学では、約20年にわたりサステナビリティ推進の取組みを継続しており、サステナビリティにおける大学の貢献度を示すTimes Higher Education (THE)インパクトランキングで6年連続国内1位（2022年度には世界10位）を獲得するなど、その取組みは国内外で高く評価されています。

2024年10月には、温室効果ガス（GHG）に関する排出量等のデータを体系的にとりまとめた「北海道大学GHGインベントリ 2022」を策定、公表しました。これは、CO<sub>2</sub>だけでなく国際協定や国の政策で規定される7種類のGHGを対象に、国際基準となっているGHGプロトコルに準じた方法論にもとづき、Scope1・2・3\*ごとのGHG排出量を包括的に把握し、再現性の高いデータベースを構築したもので、国内大学では初の取組みです。本セミナーでは、「北海道大学GHGインベントリ」策定の取組みを中心に、同大学におけるサステナビリティ推進の取組みを、プロジェクトをリードする研究者からご紹介いただきます。

\* Scope3（スコープ3排出量）とは...サプライチェーン排出量のうち、Scope1（事業者自らによる直接排出量）とScope2（他社から供給された電気、熱・蒸気等の使用に伴う間接排出量）以外の間接排出量を示す指標で、事業活動の上流における原材料の調達や製品の輸配送に伴う排出、下流における製品使用や廃棄による排出などが含まれます。

## 申込み方法

こちらのフォームから  
お申込みください

申込締切 3月2日 月 12:00

## Round Table

山内 太郎 氏（上掲）

平 裕 氏（上掲）

喜多 隆 神戸大学 理事・副学長

SDGs推進室長、カーボンニュートラル推進本部長